そこが聞きたい!! ― 般質問

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、4日、5日、6日の３日間、17名の議員が一般質問を行いました。
ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。

「地域防災力の要」消防団の充実強化を！

磯野　和夫（公明党）

今回の主なテーマ
- ▶消防団の装備・待遇の充実を
- ▶消防団へのさらなる加入促進を
- ▶事業者・大学への働きかけを

◆「消防団支援法」の成立を受け取り組みを

東日本大震災以来、地域防災力の充実強化が求められる中、その要としての消防団の重要性が注目されている。しかし、少子高齢化などの社会情勢の変化により、消防団員の減少は顕著で、大変憂慮する状況である。

こうした中、国では「消防団支援法」が成立し、国・自治体は消防団のさらなる強化に取り組むことになったが、以下お尋ねする。

①消防団の装備充実と待遇改善の取り組みは。

②消防団への加入促進の取り組みは。

市民部長 ①26年度に車両などの更新計画の見直しを検討し、27年度予算に反映できるよう調整していく。また、大規模災害の際には、広範囲での活動が予想されるため、広帯域対応のトランシーバーは必要と考える。待遇では、公務災害補償などに関する法律施行令が施行される予定であり、退職報償金の引き上げを行いたい。

②23年度に条例を改正し、居住地や年齢の要件を緩和したほか、消防団応援ショップ事業を開始し団員の確保に努め、また消防後援会では、啓発活動を通じて積極的に勧誘を行っている。

人口減少時代の自治体を考える

加賀谷　勉（公明党）

今回の主なテーマ
- ▶女性の社会参画強化
- ▶子育て支援の充実
- ▶市場戦略

◆女性の社会参画を強化すること

①街の活性化と市民福祉向上のために女性の活躍をさらに推進することが必要だが、認識は。

②出産・育児期の女性が働き続けるための就労環境のさらなる整備については。

市長 ①介護、保育、医療などの分野をはじめ、女性の持つ力を最大限に生かし、輝いている姿が多くのところで目に映ることは喜ばしく、女性の活躍をさらに推進することは必要と認識している。今後も、仕事で活躍している女性も、家庭に専念している女性も、それぞれのライフステージ（人生の節目となる出来事で区分される生活環境の段階）で輝けるよう各施策を実行していく。

環境経済部長 ②男女雇用機会均等法や労働基準法の改正など、引き続き労働基準監督署やハローワーク所沢および県と労働関係の情報を企業や女性に向けて周知を図るとともに、就業意識の啓発や在宅就業、女性起業など、各種の講座を国・県と連携して行うなど、市の子育て支援策を推進する中で、子育てをしながら働ける環境の整備を継続的に促進していく。

未来を担う子どもの施策充実を

広森　すみ子（日本共産党）

今回の主なテーマ
- ▶新制度の元での保育の行方
- ▶子ども読書活動の推進
- ▶学校図書館に専任司書を

◆市が認可する保育事業の基準

主に３歳未満児を預かる、地域型保育事業の認可基準を国より手厚くする考えは。

福祉こども部長 国が示す基準を確保した上で、市内の家庭保育室をはじめとした、既存の認可外施設の実態を踏まえ、良質な保育が適切に提供される水準を検討していく。

◆学校図書館の充実

県内で学校司書を配置していないのは、狭山市を含め11市。子どもの読書推進のために早急に専任司書を配置すべきと考えるが対応は。

学校教育部長 昨年８月に策定した、狭山市子ども読書活動推進計画で、学校司書を順次配置することとした。学校図書館は司書教諭を中心に図書ボランティアの協力を得て運営し、教育委員会が委嘱した学校図書館指導員が学校図書館を巡回して、ボランティアの指導などを行っている。司書教諭は兼任であり、図書ボランティアも時間や日数に限りがあり、人的な配置の面では必ずしも十分とは言えないことから、今後学校司書を順次配置することとした。

高齢者の生活支える地域包括ケアシステム

齋藤　　誠（公明党）

今回の主なテーマ
- ▼病気を診るから暮らしを見るへ
- ▼効果的な介護予防を提供
- ▼めざすべきは地域住民の自立

◆医療や介護を地域で総合的に

介護の効果的サービス提供に、医療との連携が不可欠だが、その取り組みは。

長寿健康部長 ケアマネジャーや介護サービス事業者は、ケアプランの作成やサービス提供で、主治医との情報交換や連携を必要としている。このため、医療をはじめ他職種の介護サービス事業者間の連携を図るため、事例を図で示しながら意見交換をするメール事例検討会を医師会のもとで開催している。

◆注目される介護予防

介護予防の成果はどう捉えているか。

長寿健康部長 介護予防の普及・啓発が目的の一次予防では、10グループが自主的な活動を継続している。また、ちゃきちゃき倶楽部の事業終了後のアンケートでは、ほとんどの参加者が満足し、７割以上の参加者が体力の維持や向上を実感したという結果を得ている。要介護認定率などの数値に明確な変化は表れないが、成果は着実に上がっていると考える。

地域の一人一人が手を取り支えあう

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。☎04-2953-1111 内線3313